

金富小学校 3年 国語「すがたをかえる大豆」

授業のねらい
○文章の順番や接続する語句の意味等に着目して読み、筆者のつながぎ言葉における説明の仕方の工夫について考える。
I C T 活用の工夫
○中心文と接続する語句のセンテンスカードをタブレット端末に配布した。児童がそれぞれを関連付ける活動を通して、接続する語句と中心文の内容とのつながりをつかめるようにした。その際に、何を根拠にして並べ替えたのかを明確にして発表できるようにした。（全員一斉配布機能、並び替え機能、提出物一斉表示の機能性を生かしたオクリンクの活用） ○板書と同じデザインでカードを作成することにより、授業の流れの中で、児童がスムーズに活用できた。
児童の様子
○接続する語句が色分けされていることにより、補足説明を加えなくても全員が取りかかることができた。 ○画面内の教材が板書と同じ配置であることは、児童の負担軽減となる。授業の流れを止めることなくタブレット端末を操作し、理解を深めることができた。
成果
○全体の話し合いでは、タブレット端末を用いたことで教員が個の様子を瞬時に把握し、個別に支援することができた。
課題
○オクリンク内で板書と同じように表示しようとすると文字が小さくなり、見えにくい。